

国語について

■小学校国語

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ▼ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力や、必要な情報を見付ける力が不足している。
- ▼ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力が不足している。

■中学校国語

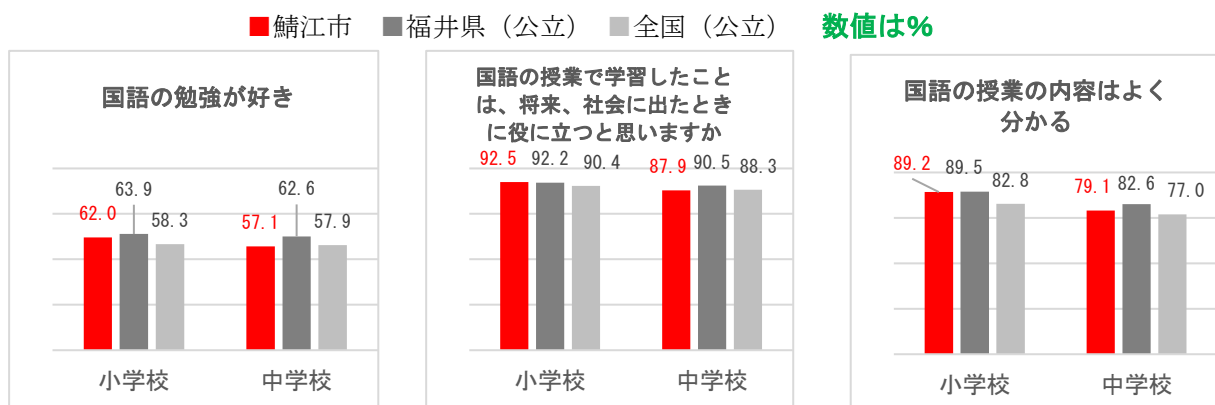
- 書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができる。
- 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
- ▼ 文脈に即して漢字を正しく使う力が不足している。
- ▼ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える力や、自分の考えを伝える力が不足している。

●《優れている要因として》

小中学生ともに読み・書きを中心とした基本的な国語の学習に意欲的に取り組んでおり、授業内容もよく理解しています。また、日常的に ICT 機器を使って表現する活動をしています。

アドバイス

国語の授業以外でも文章に触れる機会を多くもちましょう。1週間に一度は図書室を訪れ、好きな本を中心に読書をする習慣が大切です。



▼《今後の課題》

小中学生とも、目的や意図に応じて必要な情報を見付けることや、自分の考えを根拠をもとに伝えることに課題が見られます。

アドバイス

国語の授業で学習した物語や説明文について、友達と意見交換したり、感想を話し合ったりする活動をしていきましょう。その際、根拠をもとに自分の考えを伝えることを意識していきましょう。

算数・数学について

■小学校算数

- 二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる。
- 五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書くことができる。
- 異分母の分数の加法の計算をすることができる。
- ▼ 小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える力が不足している。
- ▼ 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する力が不足している。
- ▼ 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える力が不足している。

■中学校数学

- 多角形の外角の意味を理解し、角度を導き出すことができる。
- 相対度数の意味を理解し、それぞれの階級の相対度数を求めることができる。
- ▼ 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取る力が不足している。
- ▼ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力が不足している。
- ▼ ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する力が不足している。

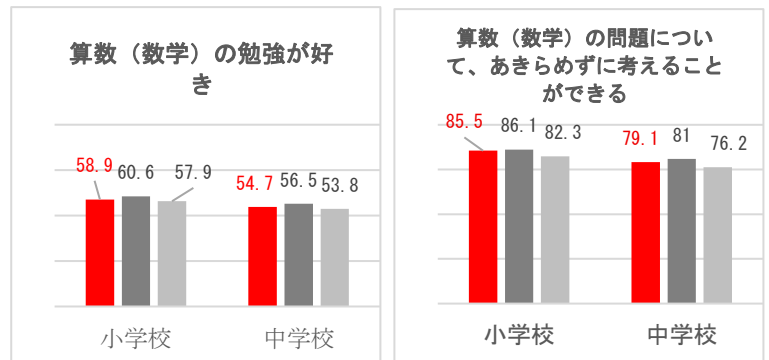
●《優れている要因として》

小中学生ともに算数（数学）の勉強が好きと感じており、分からない問題に対しては、あきらめずに粘り強く考える実態があります。

アドバイス

今後も計算をはじめとした基礎基本の定着に一層力を入れることが大切です。また、友達と考えを共有して粘り強く課題に取り組み、多角的な考え方を身に付けていきましょう。

■鯖江市 ■福井県（公立） ■全国（公立） 数値は%

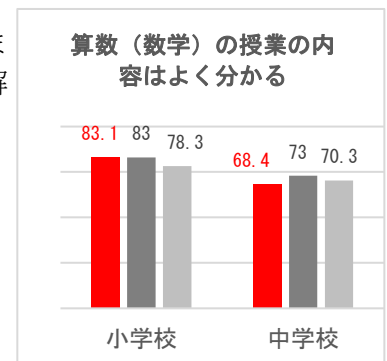


▼《今後の課題》

小学校では小数や分数など整数以外の数の量感に課題が見られます。中学校では、事象に即した情報の読み取りや事象を数学的に解釈し、説明することが課題に挙げられます。

アドバイス

小数や分数は、量感をともなって理解することが大切です。例えば日常生活の中から小数や分数の使われ方を見つけ、小数や分数に慣れていきましょう。また、身のまわりからいろいろな変化を見つけて表やグラフを作成し、変化の特徴を探ってみましょう。



理科について

■小学校理科

- 電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いている。
- ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。
- ▼ 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想することや、結果の差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだす力が不足している。
- ▼ 水の蒸発や結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解する力が不足している。

■中学校理科（共通問題について）

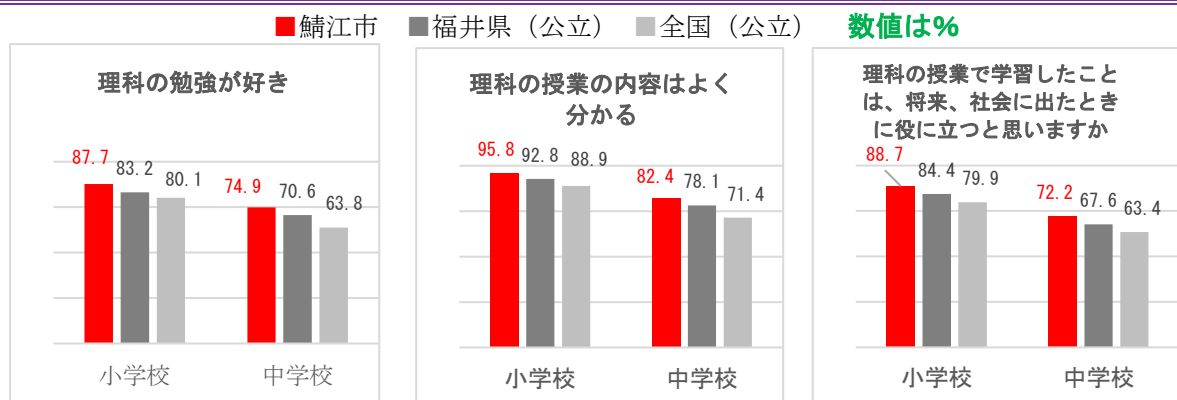
- 元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いている。
- 探究から生じた疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる。
- ▼ 身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する力が不足している。
- ▼ 露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈する力が不足している。

●《優れている要因として》

小中学生ともに理科の勉強が好きと感じており、学習した内容が将来、社会や生活に役立つと思う割合が高いです。理科に対する興味・関心が高いことが、積極的に理科の学習に取り組む姿勢につながっていると考えられます。

アドバイス

今後も科学的な現象に対して興味・関心をもち、「なぜ」や「知りたい」を大切にし、観察・実験を通して様々な事象を検証する学習をしていきましょう。



▼《今後の課題》

小中学生ともに、問題を解決するための実験を計画することに課題が見られます。また、科学的な現象から生じる疑問や、それを明らかにするための観察・実験を設定することに課題が見られます。

アドバイス

明らかにしたい問題を明確にし、その問題を解決するための観察・実験の計画をしていくことが大切です。その際、条件を制御し、2つの事象を比べて得られる結果に着目することを意識していきましょう。また、水や空気などについては、地球規模でその存在について学習する広い視野をもつことが大切です。環境問題と絡めながら学習しましょう。